

いわき農林事務所ニュース

2007年 9月号



◎活動状況

- ・「[田んぼの生きもの調査](#)」実施

◎トピックス

- ・[第36回いわき市花いっぱいコンクール](#)

活動状況

○田んぼの生き物調査を実施しました (勿来第一小学校)

「田んぼの生きもの調査」は、農家の方々や小学生など地域の人と一緒に田んぼ周辺の生きものの生息状況や環境条件を調査することによって、生きものとの共生を可能とする農業農村整備事業の実施に役立てることを目的としています。

今年度は、8月31日に、いわき市勿来町窪田地内の水田周辺において、地元の「勿来第一小学校」4年生児童81名と一緒に取り組みました。

まず、農業用水路において、水温、水深、水質（pH・COD）、流速測定などの環境調査を実施しました。その後、生きものを採捕し、種類の判定や個体数等の確認を行い、さらに写真撮影を実施しました。

調査の結果、オイカワ、シマドジョウやカラドジョウなどの魚類の他、カワナナ、マルタニシ、しじみ等の貝類、その他アメリカザリガニ、タイコウチ、やぶ、トウキョウダルマガエル等多種多様な生きものがたくさんいることを確認することができました。

さらに、今回は、小学校が継続して実施している「蛭田川の生きもの調査」も併せて実施しました。

蛭田川では、ドジョウやギバチ、サワガニ、モクスガニ、シマエビ等が生息することを確認しました。

田んぼ周辺の生きものと河川に生息する生きものの調査結果を比較することで、それぞれの



環境調査（COD調査）



トウキョウダルマガエルを撮影

共通点、相違点を確認することができました。

また、「田んぼの生きもの調査」では、児童たちが直接生きものに触れ、観察することによって、自然の豊かさや生命の大切さ、地域の特徴について考える機会を提供することも目的としています。

この調査により、児童たちが自分たちの住む地域の特徴や豊かな自然環境を再発見し、恵まれた環境、自然を大切に作る心が育まれていくことを期待します。

トピックス

○第36回いわき市花いっぱいコンクールが開催されました

いわき市住みよいまちづくり推進連絡協議会では、花と緑で潤いのある地域社会をつくることを目的に、「花いっぱいコンクール」を実施しています。

第36回にあたる今年度は、市内の町内会、企業等の約90団体が参加し、環境美化やまちづくりに取り組んできました。

8月20～21日には、いわき農林事務所農業普及部長を含む5名の審査員により現地審査が行われ、国道49号線沿いにマリーゴールド、ベゴニア等を使って見応えのある花壇を作り上げた「三阪小学校交通安全母の会中三阪分会・中三阪婦人消防隊」が最優秀賞に選ばれました。この花壇は、花の生育やデザインが優れているのに加え、鍬などを使ったことのない若い母親に婦人消防隊が教えながら作業を進めるなど、地域内で連携と協働による、花壇作りに取り組んでいる点も大きく評価されました。

最優秀賞他、各入賞団体は、11月に開催される「住みよいまちづくり推進大会」の席で表彰される予定になっています。

今年の夏は猛暑の日が続き、水かけなどの管理に特に苦労しましたが、地域内の協力体制の下でていねいに管理されている花壇が多く、秋口に入った現在も市内の随所で美しい花壇を楽しむことができます。また、環境美化の活動を通して地域住民の輪の広がりが強く感じられます。

◀ もどる

すすむ ▶

[[▲Top](#) | [福島県トップページ](#) | [いわき農林トップページ](#)]